

二〇三四年の私 一故郷を守るために一

旭川市立緑が丘中学校 佐々木香杜 2年

私は自然が好きだ。生まれ育った家の近くには森林公園や北星山があった。散歩をしたり虫捕りをしたり、庭にくる野鳥にえさをあげたりして過ごしてきた。

今年の四月、中富良野町から旭川市の中学校に転校してきた。初めての転校で緊張したが、みんな優しく話しかけてくれ、すぐに友達ができた。前の学校には無かった部活動にも入ることができた。旭川市は、大型のショッピングセンターや病院、飲食店などがたくさんある。そのため、便利で楽しい毎日を過ごしている。しかし、どこか寂しく感じる自分がいた。休日に中富良野町の家に戻った時に、前までは何気なく過ごしていたところが、懐かしく安心できる場所に変っていた。前よりも山がきれいだなと思ったり、空気がおいしいと思ったりするようになった。町から一度離れたことによって、今まで住んでいた町は、自然環境に恵まれているという良さに改めて気づいたのだ。

私は、町が主催したワークショップ「なぞときまちさんぽ」に参加して、町の良い所を再発見するために町中を歩いたことがある。町の人たちと町の良い所や課題を話し合うことができた。北星山の観光リフトに乗り、頂上から町全体を眺めた。そこから見る景色は素晴らしく、この豊かな田園風景を守り続けたいと感じた。

二〇三四年、今から十年後、私は大学を出た後、大好きな中富良野町に住み、町をより良くするための活動をしていきたい。

例えば、広い森林公園を活かしたアスレチックパークをつくり、観光客だけでなく、町の子どもたちも楽しめる場所を増やしたい。

また、町の人口が減ってきているので、「この町に住みたい」と感じて移住してくれる人の増加を図りたい。町外に移住した人もまた戻ってきたいと思えるような自慢できる町にするために、町を活性化し、さらに中富良野町の魅力を発信していきたいと考えている。

そのために、どんな仕事に就いているかは、まだイメージできていない。だが、デザインに興味があるので町の魅力を発信するウェブサイトをつくりたい。他にも、動物が好きなので自然を活かして動物に触れ合えるところをつくったりしたいと夢はふくらんでいる。

二〇三四年、私は中富良野町に住んでいる。そこでは、豊かな自然を守り、町に住んでいる人や訪れる人、町に住む動物たち、みんなの幸せのために暮らしている。